

4. 大学院学生の学生生活

入学経路、経済状況

大学院学生の入学までのキャリアは、2016年度以降、同様の傾向を確認できます。理系修士課程では9割以上が「学部・大学院卒業後そのまま入学」です。この比率は、文系修士、理系博士後期では6割程度にとどまり、文系博士後期では5割程度にとどまります。専門職大学院学生の場合には、「学部・大学院卒業後そのまま入学」の場合と、「仕事を継続したまま・転職時に入学」の場合に分かれています。

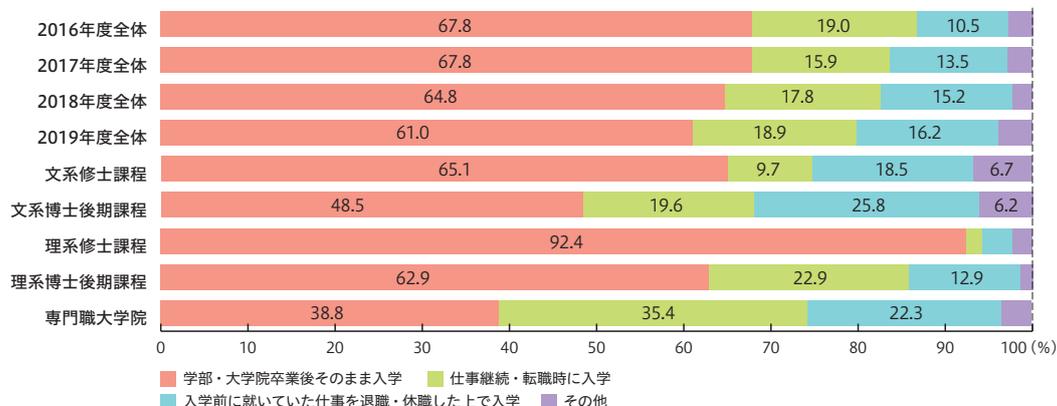


図30 文理・課程別に見た大学院入学経路

現在の経済的独立の程度ですが、2016年度以降、一定した傾向を示しています。図31のとおり、「経済的に独立している」比率は、全体の3割にとどまります。理系修士課程でもっとも低く、ついで文系修士課程となります。文系博士後期課程・理系博士後期課程ならびに専門職大学院では半数程度が「経済的に独立」しています。

当然のことながら、学費・生活費の収入源は、課程ごとに異なっています。修士課程の大学院生は、文系・理系とも「近親者による支援」が中心であり、それ以外に「アルバイト」「奨学金」によって賄われています（表14）。ただし、アルバイトの比率は学部学生とは対照的に4割程度にとどまっています。博士後期課程ならびに専門職大学院の学生たちは、「現在の就業による収入」を充てる比率も高く、「近親者による支援」とほぼ同水準となっています。

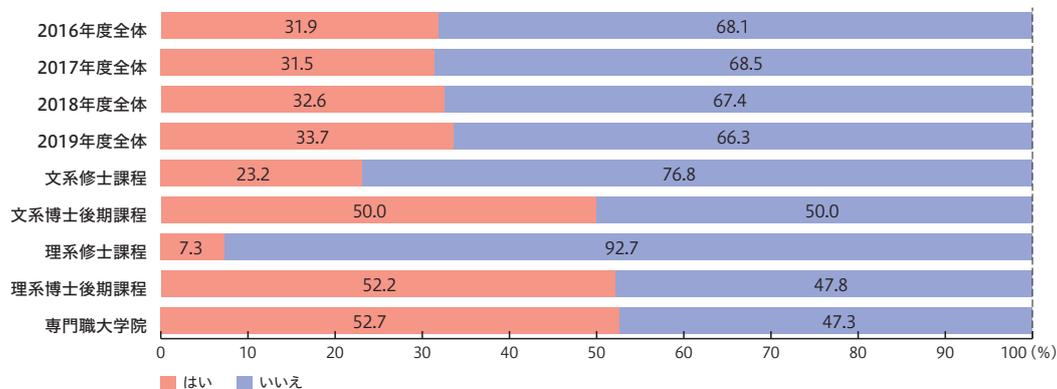


図31 文理・課程別に見た「経済的に独立しているか」

表14 学費・生活費の収入源（複数回答）

(%)

	現在の就業による収入	本人の預貯金、株式・不動産など	奨学金	アルバイト	近親者による支援	その他
2016年度全体	24.6	16.3	31.0	32.0	59.1	1.9
2017年度全体	21.9	19.0	27.8	32.7	58.4	2.6
2018年度全体	21.6	21.0	27.7	34.1	62.7	2.0
2019年度全体	22.2	17.4	28.3	31.6	62.6	1.7
文系修士課程	12.8	19.5	26.5	43.0	71.1	1.3
文系博士後期課程	29.9	22.7	45.4	39.2	43.3	1.0
理系修士課程	4.0	8.4	30.2	45.0	86.3	0.0
理系博士後期課程	46.4	13.0	49.3	21.7	37.7	4.3
専門職大学院	35.7	22.1	22.1	15.7	47.9	2.8

休講授業の補講等措置、満足度

今年度の調査では、大学院授業での休講の有無と、休講授業の補講等措置の有無について尋ねています。その結果、全体の35%が「すべての授業で休講はなかった」とし、ついで34%が「いくつかの授業で休講があり、すべて補講等の措置がとられた」としています。これを文理・課程別にみると、文系修士課程では、全体と同様の傾向を示していますが、17%が「いくつかの授業で休講があったが、いずれも補講等の措置はとられなかった」としています。文系・博士後期課程、理系・修士ならびに博士後期課程では、おおむねすべての授業が予定どおり実施されたと回答されています。専門職大学院の場合には、半数程度が「いくつかの授業で休講があり、すべて補講等の措置がとられた」としています。

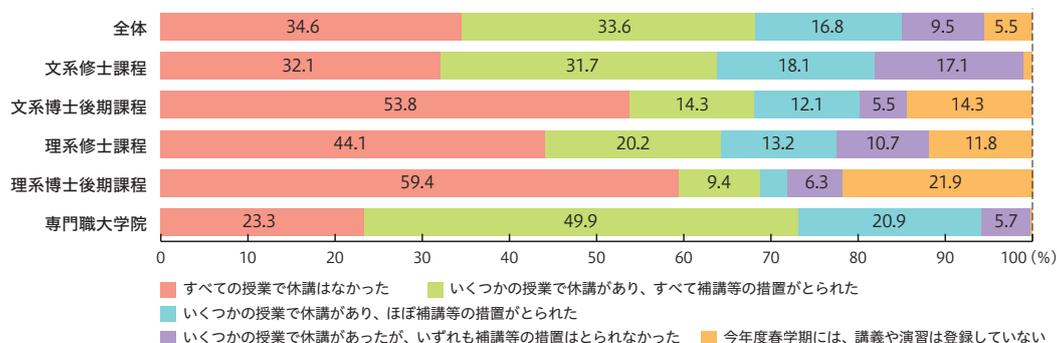


図32 文理・課程別にみた休講した授業の補講等措置

現在受けている研究指導の満足度についても、2016年度以降、同じ傾向になっています。総じて満足度は高く、「満足している」の比率は、修士課程よりも博士後期課程で高い傾向があります(図33)。また、大学院での授業や研究環境の満足度も、2016年度以降同様で、研究指導ほどではありませんが総じて高いようです(図34)。

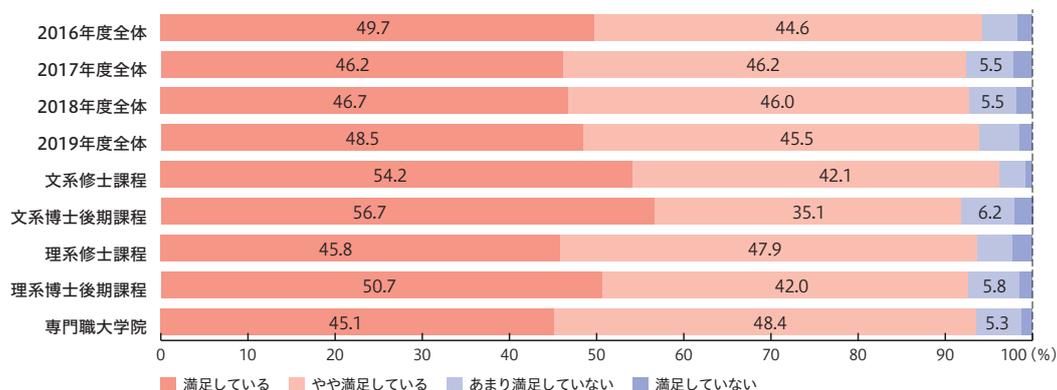


図33 文理・課程別にみた研究指導の満足度

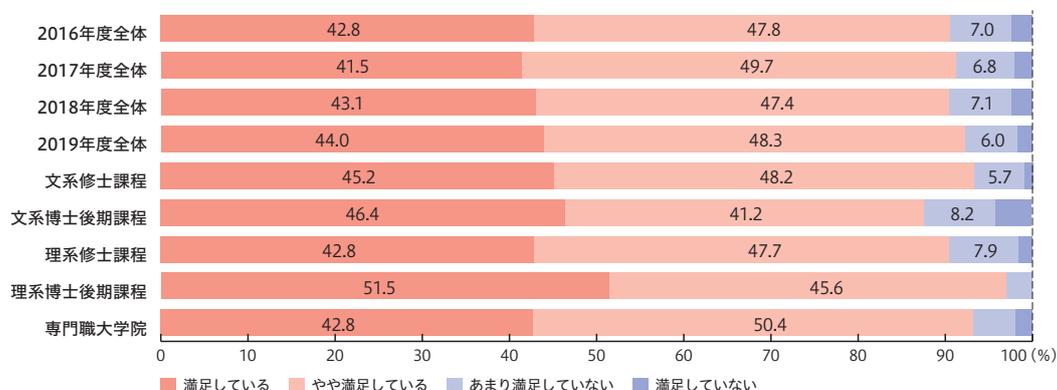


図34 文理・課程別にみた授業・研究環境の満足度